



議会だより

第18号

みなべ

平成21年8月1日

発行 みなべ町議会

編集 議会広報特別委員会

〒645-0002 和歌山県みなべ町芝742

TEL 0739-72-1334

FAX 0739-72-1335



5月定例会

体験学習(岩代小学校)

議案審議..... P2~3

一般質問に5名が登壇..... P4~8

常任委員会の報告..... P9

議 案 審 議



浄化センター

浄化センター の耐震は

Q このセンターの耐震はどうなっているのか。
A この浄化センターは震度6以上の耐震設計施工となっています。

みなべ町議会の第2回定例会（5月議会）は5月13日に開会され22日に閉会しました。この定例会では条例の一部改正などの4承認、国民健康保険税条例の一部改正など10議案が上程され審議されました。その主なものを報告します。



小倉谷トンネル工事（予定地）

小倉谷農免農道

Q この農免の工事は、請負変更契約が多すぎるがどうしてか。
A 設計の変更ではなく、工事の過程の中で生じてくる物事に対応するものであり、現場吹付法枠工を追加するものです。

小倉谷トンネル工事

Q このトンネルの長さや工法はどのようになっているのか。
A 長さは296mであり、今回のトンネル設計は、通常のナトム工法を採用し、標準的な工法で行うものです。

住宅建設

Q 全体計画は32戸となっているが、今年度24戸の計画であり、どうしてこうなっているのか。
A 今年度は国の補助金が3棟分の24戸で5ヶ年計画となっていて、平成22年度残り1棟8戸分となります。

入居予定は

Q 24戸だけできてから入居していくのか。すべて完成してから入居していくのか。
A 平成23年度に完成予定となり、同時に入居できたらと考えています。



住宅建設予定地

国の補正予算が決めれば

Q 今国会で審議されている補正予算で、自治体で活用できる内容はどのようになるのか。

A 地域活性化経済危機対策臨時交付金があつて、実施計画に基づいて、事業に要する費用に対し、100%補助されます。もう一つは、地域活性化公

共投資臨時交付金があつて、地方負担額のおおむね9割の補助となります。

町として、まだはつきりしていませんが、学校の耐震診断費用とか林道関係や学校橋の塗り替え関係などであり、9月議会に補正予算の提案を予定しています。



プレミアム商品券発行

メンタルフレンドの状況

Q 適応指導者報償費が臨時職員3名分に予算の組み替えがあるが、教室の現状はどのようになっているのか。

A 指導者は町の臨時職員として採用し、時給900円です。現在、教室へ通っている児童・生徒は小学生が4名、中学生が5名通っています。



教室のある集会所

プレミアム商品券

Q この商品券の発売期間と現状はどのようになっているか。

A 4月27日から8月31日までの間で発売されます。5月現在約2千セットの販売数と聞いています。

塵芥処理費

Q 地方債が減額され、税等で財源更正がされているか。

A 最終処分場の再生工事が事前着工ということで、県の交付金事業の対象とはならない。起債も合併特例債が借りられないので、地方債で減額して、税等で増額しています。

商工総務費

Q 商工総務費も、財源更正がされているか。

A 当初は国民宿舎の耐震改修に伴う起債で予算化をしておりましたが、最終的には起債をしないということで、一般財源の税等となっています。



国民宿舎

一般質問

一般質問は5月19日に5人の議員が行いました。(質問者から提出された原稿とおり掲載しています)



森坂義明 議員

農業集落排水等の 使用料について

質問

農業集落排水の使用料についてですが、ここ何年間の農排水の接続率が80%強で横這い。そこで現行の使用料(雑排水とトイレをセット)に雑排水のみ、また、トイレのみの使用料金も取り入れ(公共下水にも)、今後の接続率アップを図られてはいいかとお尋ねします。

町長

下水道の趣旨から申し上げまして、生活排水から出る公共水域の水質保全はもちろんですが、くみ取り式トイレから発生する病原菌による伝染病を未然に防ぎ、文化的で快適な生活環境の改善を図るというのが本来の目的です。

それで昨年の11月から4月にかけて未接続の方々へ、区長、区役員さんと下水道課職員らでの啓発活動を行ってききました。

生活雑排水を接続すると、公有水面に放流しない事になり、環境上のメリットはあると思いますが、制度の趣旨等もございまして、この事業の趣旨をご理解いただきたいと思えます。

質問

事業の制度、趣旨からということなんですが、それは法的(使用料の多様化)に謳われているとか、そういうことですか。

町長

法的には何ら支障はありませんが、推進していくうえにおいては、現在のところ、雑排水・トイレということでの料金体系については考えていません。公有水域の環境を考えた場合、今後検討課題にしてまいりたいと考えています。

懲戒委員会のあとの 懲戒処分について

質問

元住民環境課長らに対する懲戒処分の量定について、懲戒委員会と当時の町長との意見は同じであったのかをお尋ねします。

町長

みなべ町職員懲戒処分審査会規則第3条第5項により、議事は秘密となっております。

詳細については説明出来ませんが、委員会の報告結果と町長の処分は変わりありませんでした。

質問

結果ですがその時点で処分が別の処分方法をとっていたら、あつてはならない不祥事4件の内3件は止められていたのではないかと。

前町長のあとを引き継がれたのですが、処分の量定についてどう思われますか。

町長

処分自体も適正であつたと考えています。あと、別の処分をしていければの部分ですが、私の考えとしては、審査会の意見を十分聞き、相談させていただき、適材適所に人事配置をするという事も含めての必要性を感じています。



農業集落排水処理センター



山中邦夫 議員

南小・南中での給食実施を

質問

3月議会での答弁を聞いて、このままでは南小・南中での給食実施、また、4年先へ延ばされるのではないかと思い、再度、質問することになりました。

まず、本当に南小・中の給食実施、やらんなんと思っておりますか。

教育長

南小・中で給食実施につきましては、実施することを前提として取り組んでいます。今もその考えは変わっていません。

質問

4年以上経っても、実施時期も明らかにできない本当の理由は何だと



南小/南中

教育長

合併後、緊急に実施しなければならぬ学校の改築や修繕が数多くあって、その整備を優先せざるを得ない状況でありました。

学校施設に関して、町が負うべき最大の責任は児童・生徒の安全安心の確保であると思っております。

質問

新しい課題、急ぐ必要のある事業はこれからも出てくる。しかし、それを給食実施を先延ばしする理由に挙げるのは以つての外だと思つて。



給食センター

それと、南小・中での給食実施の基本方針が間違つていたと思う。それは、給食センターの増改築しか考えてなかったことです。

そこには、給食実施を一日も早くという思いがないからです。

教育長

私共としては、学校施設の耐震化など沢山の課題を抱えていると説明しましたが給食実施をその後にするとかは考えていません。

給食センターの増築、給食実施というのは並行して進めていきます。

また、耐震改修をやる際に

どのような改修をやるのか、これは給食実施とも関連があると考えています。

質問

今はもう方針を定めることができませぬので、給食センターを一日も早く増改築して、南小・中での給食実施を進められるよう要望します。

教育長

給食センターの増改築につきましては現在、隣接地で取得してあります用地の利用計画を立て、関係者の同意を得ていきます。

それから、早い時期に給食センターの概略設計をして、建築費用や設備など、検討を進めていきます。

一連の不祥事問題



竹本栄次 議員

公金詐欺

質問 架空請求詐欺事件ですが、合併前旧南部町時代にも同じような事があったのか。

町長 当局として無視できない内容でしたので、早急に然るべき調査を行いました。結果としてそのような事実を確認できなかった。

公金詐欺事件の公判中で、起訴について審議中ですが、裁判が終わって民事の部分等も含めて色々やらなければと思っています。

質問 町民は色々な疑問を持っている。襟を正して職務に励んでほしい。

町長 当然の事です。襟を正して、厳粛に事務を進めてまいります。

補助金減額

質問 無認可工事で補助金減額された要因は、町執行部の考えの曖昧さである。減額されたら千万円をどうして補うのか。

町長 税金で補う事になります。財政計画等もあり、最終事業費を縮小してでも、当初計画どおりにと思っています。

質問 税金で補うとなれば、町民に負担をかけると思いますので、執行部は一連の不祥事問題を各地区に行つて事情説明をして、理解を得る必要があるかと思うが。

町長 この件につきましては、最終、終わった段階で町民に対する説明とと思っています。裁判が終わって、民



最終処分場

事の部分等も含めて、説明責任を感じています。



町有財産

町有財産の管理

質問 委員会でも町有財産の現地確認を行いました。担当課が現地案内をしてくれましたが、担当課が現地を把握できていないのは、町有財産の管理を軽視しているのでは。

町長 執行部が把握できていないことにつきましては、お詫び申し上げます。現状を把握する中で、私自身が一度現地を回ってみたいと考えています。

総務課長 担当課として十分な現地説明ができて、大変な迷惑をおかけしました。深くお詫び申し上げます。すべての町有財産の現地確認については、できていない状況にあります。早い時期に現地調査を実施し、確認を行って正確な町有地台帳を提示したいと考えております。



中井重雄 議員

梅枯れ問題について

質問

一年で最も忙しい梅収穫シーズンに突入しようとしています。そこで南部の経済の中心である梅問題について少し質問したいと思います。昭和63年ごろから平成3年ごろまで、このみなべで梅の木が枯れるという問題がおこりました。いまだに、はっきりした答えは出ていませんが、発電所の煙が黒ということではでしたが…。



梅枯れの木

の発電所が原因ではないかと抗議行動をしたのを記憶しています。

町長

それから現在まで梅枯れ問題はおこっていませんが、今また、御坊発電所の稼働率が高くなって梅枯れ問題が再発しないかと心配しています。そこで、このまま発電所が稼働すると2〜3年先に梅枯れが再発しないかどうか、それと町として梅枯れした当時と同じように発電所の稼働率等監視する必要があるのではないかと思います。町の考え方をお聞かせ下さい。

御坊火電の稼働率、大気汚染等については、今まで幾度となく議論を

重ねてまいりました。その間、梅対策研究会等の研究会での大気環境調査、降下煤塵調査や暴露試験等、環境調査に取り組んでまいりましたが、いずれも生育障害との関連には至りませんでした。しかしながら、より一層大気環境に配慮した施設運営を関西電力に求めた結果、脱硫装置の設置、脱臭装置等の設備を改善し稼働されております。これは、梅産地として大きな課題ですので今後も県の梅研究所と連携して、原因究



パイロット

明に努めてまいりたいというふうに考えています。

質問

関西電力の行動にこれからも一層注目してもらいたいと思います。

町長

今も申し上げましたように原因としては、はっきりとつかめてないわけですが、何と云いまして、みなべ町の産業の柱の一つである梅のことでございまして、今後申し上げますことは言うつという立場で望みたいと思います。

公共事業の発注に 一般競争入札導入を再度聞く



田中昭彦 議員

質問

あの福沢諭吉が、「この世で一番怖いのは、後世にツケを回すから借金が一番怖い」と言っている。

町政の将来を見通すと、合併時の協定で、今後実行しなければならぬ公共事業は目白押しに有り、また大規模災害の発生も予想され、復旧費は莫大であり、更に、昨今の梅雨況は余り芳しくなく、収の落ち込みも懸念される所である。

そういう状況から、長期的な視野で、後世に対しても負担軽減を図ることも大事である。そこで極力借金に依存しない町政運営を考えていかねばならない。



福沢諭吉翁

そこで、少しでも安い費用で公共事業を発注するため、談合が出来にくい、一般競争



入札箱

入札を導入しては。これは今回の不詳事件の反省からきたものです。

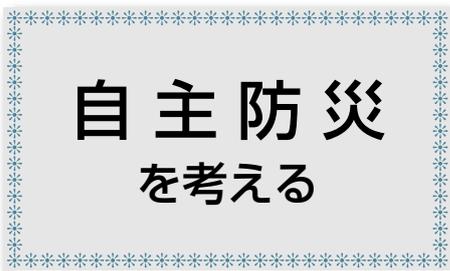
町長

一般競争入札に關しましては、12月議会で答えしました。その時指名競争入札のメリット、一般入札のデメリットを申しましたが、今回はその反対を申します。

指名入札のデメリットは、本町のような小さな町では、入札参加者が固定化することになる。また一般入札のメリットは、入札参入の自由度が高まり、価格競争の範囲が拡大すると思えます。

しかし今のところ、事務局体制が整っていないので、一般競争入札の対応はしづらいのが現状ですが、今後この制度の導入を十分検討し、みな

べ町に合った入札方式にしてまいりたいと考えております。



自主防災
を考える

この件に關しての質問は、次回になります。



防災訓練

- ①全町に自主防災組織が設立完了した今、その連合会を創っては。
 - ②9月に行われる全町一斉避難訓練の内容を見直しては。(マンネリ化している)
 - ③木造耐震診断を受ける人が少ない。結果後の改築費が高額になるからだと思うが、費用の安い「耐震シェルター」の導入を考えては。
 - ④災害時に孤立する恐れがある地域に、無線機や衛星電話を配備しては。
 - ⑤「防災士」の資格取得を援助し、大勢の地域防災リーダーを養成しては。
- 以上5点について質問しました。

常任委員会 報告

第2回定例会が閉会されたあと、各常任委員会では7月6～7日の大雨による被害状況や町内の学校の状況を視察しました。

産業建設常任委員会

7月6日から7日にかけての集中豪雨による、町内の被害状況を、去る7月10日に、現地視察しました。

当日、副町長及び総務課防災担当から町内全般における、災害の状況説明を受けたあと、主な現地（塚・埴田川・東吉田・辺川・受領・林道東神野川木の川線）をまわり、被災状況の把握に努めました。今回の被害の特徴としては、山間部より海岸近辺での被害が顕著であったようです。

土砂災害など町民の生活に、支障を来したりしている所もあり、早急な対策を講じるよう当局に要請しました。



総務文教常任委員会

去る、7月15日に、町内の9小中学校と、南部幼稚園を視察しました。

各校長、園長から現況を聞き、また、町への要望等も聞きました。特に、校舎の雨漏れや、老朽化にともない耐震補強を急がれる棟がありました。



サークル紹介

生き生きクラブ (カラオケ)



先生と共に

民謡三味線教室



練習の後に

平成13年

発足

現在

代表者 庄司 一恵
会員数 7名

活動

南部公民館で毎週金曜日午後7時半から練習。
芸能まつり、田辺文協フェスティバルに出演。他、各地の老人ホーム等への慰問活動もしています。

一言(民謡三味線教室)

唄と三味線のおけいこをしています。唄だけでも三味線だけでも、もちろん両方でもかまいません。
一緒に民謡を始めてみませんか。

一言(生き生きクラブ)

声を出して唄うということが、精神的にも肉体的にも身体に好く、お友達も増えて楽しいものです。
どうぞお気軽にご参加下さい。

平成13年

現在

代表者 安村 展子
指導者 土畑 明
会員数 12名

活動

毎日曜日(第3除く)南部公民館で午後7時より、自分のテープ持参で熱唱しています。年に数回、老人ホームの慰問や毎年の文化祭に参加しています。

あしがき

梅の収穫繁忙期も過ぎ、梅漬け農家では梅酢の香りが夏の風に漂い、訪れる人を和ませています。
今年の梅の作柄は、雨不足で心配したのですが、収穫も終えた今は価格の方も気になりますね。
活気ついて欲しいのが...。
町民の皆様のご意見、ご感想をお待ちしております。
(森)